

お
里
が
知
れ
ぬ
、
月
の
子
へ

内
田
ま
る

お里が知れぬ、月の子へ

内田まる

【あらすじ】

2014年8月中旬、福岡県北九州市の某中学校。何をしてもぼっとしない、宇宙好きな中学生の内田まる(14)。

クラスでは孤立し、母親のまち子ともうまくいっていない。そんな冴えない中学生生活のある日、大月来夏(14)がクラスに転入してくる。来夏は「月から来た」とか「UFOを呼べる」とか、とにかく言いたい放題でクラスを混乱させる。来夏は中心人物の梶に喧嘩を売って腫れ物扱いされるようになるが、特に気にもしていない様子で過ごしている。まち子から「来夏は変わった家庭の子だから近づくな」と忠告されるが、まるは来夏の動じない姿にだんだんと惹かれていく。

文化祭が差し迫り、クラスの出し物は劇に決まる。いじめっ子・チーに脚本の担当を押し付けられるが、来夏が手伝うと手を挙げ、二人での脚本制作がスタートする。早速放課後、居残りして作業をする……かと思いきや、来夏は初っ端からサボりに誘ってくる。コンビニで買い食いしたり、夜の道で遊んだり……。来夏はまるに新しい世界を教えてくれる。初めは抵抗していたまるも、徐々に来夏に心を開いていく。二人で劇の題材を「かぐやひめ」にすることを決め、まるはクラスで初めて自分の意見をちゃんと発信する。賛同してくれるクラスメイトや、応援してくれる先生の後押しもあり、まるは自信をつけていく。

まるはみんなに認めてもらいたい一心で、いつものようにサボりに誘ってくる来夏に苛立ちを覚えるようになる。来夏に連れ出され訪れた水族館で、二人はついに喧嘩をしてしまう。片親のまると肉親が一人もいない来夏は、二人とも孤独を抱えている身でありながら家族構成の差からすれ違う。

帰宅後、些細なことでもまち子とも喧嘩してしまう。まるが一人部屋で気持ちを落ち着かせていると、まち子が持病で倒れる。気が動転するまる。元父に連絡を取って、協力してまち子を病院へ運ぶ。幸い大事ではなく、短い入院となる。

その後、ライカは学校へ来なくなる。文化祭は着々と迫り、時間もない中、まるはクラスメイトからの無理な要望を受け入れかけてしまう。周りに認められることと、自分のやりたいことをありのままやることの両立は難しいと知る。

十五夜の日、まるは来夏を探す。来夏は本当にUFOを呼ぼうとしていた。まると来夏は仲直りし、二人でUFOを呼ぶ。来夏は、月へ帰っていく。

文化祭当日、まるは、ライカとのことを反映した「かぐやひめ」をクラスのみんなで上演する。

○教室

生徒たちは席についており、まるだけが立っている。
国語教師、教科書を開いて前に立っている。

田中 聞こえませーん！

生徒たち、笑う。

教師 田中しゃーしい。内田ー、続き。

まる ……メロスは……（黙る）。

田中 メロスは激怒した！

梶 お前じゃないっっちゃバカ。

チー 田中うざーい。

教師 田中でしゃばらない（まるを一瞥し）……えー。

まる ……。

ちやる （小声で）口ついてないやん内田さん。

チー トイレのおまるさーん。

ふう （笑いつつ）ちよつとやめりつちや。

教師 内田、座って。じゃあ今日は……16日やきく、足して7で梶！

梶 7!？ 俺？ まじか……えー……。

梶、だるそうに「走れメロス」を音読。

チャイム音。

教師 はーい。今日はここまでー。日直ー。

かな きりーつ、れーい。

生徒 ありがとうーございましたー。

かな ちやくせーき。

教師 （まるに小声で）音読くらいはやろうかね、内田。

まる ……。

国語教師、退場。

入れ替わりで担任・伊原先生がプリントを持って入ってくる。

伊原 はーい後ろ回してー

田中 (プリント見て) えっ文化祭やん!
かな なんこれ。

伊原 静かにー。えー、今年から文化祭は外部の受け入れ無しになりました。
(生徒どよめいて) うるさーい。親に渡してー。来る人の名前書いてサイン書いて提出ー。来週月曜まで。

玉木 えーーなんでー。

林 変質者多いけやろ、最近。

伊原 明後日の5限、学活ね。クラスの出しもん決めるぞー。

ちやる えー！ 喫茶店とかやりたいんやけど！

ふう クレープとかいいんやないん。

伊原 食べもんとかはダメやけなー分かつとると思うけど。

ちやる・ふう えー。

伊原 はーい。ああ、今週リコーダーテストあるっち三木谷先生言いよったけ練習しとけよお前ら。落ちるぞ。

北野 き、聞いてないんだが。

伊原 はい終わり。気をつけて帰れよー。

かな きりーつ、れーい。

生徒 ありがとーございましたー。

生徒、各々帰る。

まる、ゆっくりと帰る準備。

ちやる (和田を見て) くっさ。

メダカに餌をやっている和田、生徒に避けられている。

まる、和田を一瞥したあと退場。

○まるの家

まる、「ただいま」と帰宅。プリントを母・まち子に手渡そうとする。

まち子 (電話越しに) だけ話と違うっち言いよんよこっちは！ 養育費のこと
も相談することあるっち前言ったよね私。別れる前了承したやんそれで。大変な
んよこっちも色々……とにかく……。

咳き込むまち子。電話を続けており、まるに気づいていない。

まる、自室へ移動。ポロポロのぬいぐるみを抱いて、窓の外を眺める。

まる ……（横になって）まるのほっぺはまんまるほっぺ。かわいいかわいいぶにぶにほっぺ……。

まる、何度か繰り返し、自分を抱きしめるように眠る。

○教室

生徒たち、各々登校してくる。

伊原先生、入場。

伊原 はいおはよー。ホームルーム始まるぞ席つけー。……えー。今日は転入生がいます。

どよめく生徒たち。

伊原 じゃからしい。大月ー。

来夏、入場。

伊原 自己紹介。

来夏、無言で黒板にでかでかと「オオツキライカ」と書き、教壇に立つ。

伊原 おい、ちょ……。

来夏 オオツキライカです！

生徒 おおー。

田中 好きな食べ物はー！

来夏 ゆでたまご！

北野 好きなアニメ！

来夏 忍たま乱太郎！

ちやる どこ出身ー？

来夏 月！！

生徒 月？

来夏、教壇から飛び降りる。

来夏 月から来た！ UFOも呼べるー！

生徒 ……ええー！？

まる （釘付けになって）……。

梶 ……大月って、いっちゃってる系？

来夏 どーという意味？

梶 や。おかしーやろ頭、フツーに。月から来たっち、そんなUMAやん。
なあ？

玉木 うん。

来夏 UMAよ？

梶 （笑って）いや……。

伊原 大月。

来夏 私がUMAじゃない証拠ってどっかあるー？ 逆にあんたが人間っていう
証明とかあったりするー？

梶 宇宙人とかいまだに信じとるん？ お前。

来夏 信じるって？ 目に見えるかどうか？ じゃあ、愛情とか友情とかは信
じない系？

梶 は？ ふざけんなっちゃ。

玉木 やめろ梶。

来夏 科学とか人間が勝手に考えた説明じゃん！ 宇宙は人が生まれるよりもつ
と前からあるのに、あんたは人間が人間の枠組みで考えたルールを信じるんだ
ね。

伊原 やめろっっちゃお前ら。なんの話か。

照明変化。

クラス全員、小さな魚のように泳ぎ出す。皆群れを成している。

来夏、その群れに飛び込む。皆来夏を避けるが、まるだけが来夏を見つめてい
る。

まるは 大月来夏はめっちゃくちゃだった。一瞬で皆に嫌われた。梶くんは喧嘩を
売ったのだから当然だ。無視されたり、陰口言われたり、私のより酷い。もしか
したら和田くんのものよりも酷いかもしれない。それなのに来夏はなーんにも気にし
てない素振りで、泳いだり、飛んだり、跳ねたり、とにかく自由だった。誰にも
コントロールされない、美しい尾ひれ。私は、クラスというのは一つの大きな魚
にならなければいけないと思っていただけ、……どうやらそうでもないらしい。

チャイム音。

○教室・放課後

次々に帰る生徒たち。

来夏、席に座ってどこかを眺めている。

まる ……あ、あの……。 (プリント差し出し) これ。 ……は、ハラハからもらったかね……。 月曜までに出すんやけど……。あの……。

来夏 ……。

まる ……う、うちも、去年転校してきたんよ。なんか分からんことあったら…。

来夏、答えない。

かな わ。内田さん、あいつとめっちゃ喋るとんやけど。やば。

さや あいつとか言わんよ。

かな ……はい。

さや、かなごん、退場。

まる ……。

まる、退場。

○まるの家

まる、まち子、夕飯を囲んでいる。

まる、テレビでアニメを見ている。

まち子 (ご飯を運んできて) テレビ見ながら食べんよ。

まる うーん。

まち子 ほら。(テレビを消して) いただきます。

まる ……いただきます。

二人、無言でご飯を食べる。

まち子 肘つかん。お行儀悪い。
まる ……。

まち子 ……（ご飯を食べて）。

まる ……そんだけなん。

まち子 え？ ……そーよ。お母さんダイエット中。

まる ……動かな痩せんよ。

まち子 分かってます。 ……今日はなんかあったんかね？

まる なんか。

まち子 学校よ、だけ。

まる ……いや、別に……。

二人、黙々と食べる。

まる ……転校生なら、来たけど。

まち子 転校生？どこの子？

まる どこっち……知らんけど。

まち子 なんて名前？

まる ……オオツキ？

まち子 大月？！南区に引っ越してきた大月さんやないんそれ。あらあ。

まる ……だけなんなん。

まち子 ほら、市民センターでさあ。あんた劇やとったときあったやん。南区で。みきちちゃん覚えとう？ 二つ結びの。みきちちゃんママが言いよったんよこの前。ちよつと変わった人引っ越して来たんよーっち。大月さん。

まる ……別に、フツーやろ。

まち子 閲覧板持ってたたら水買わされそうなたち言いよったもん、みきちちゃんママ。おばあさんに。あんた、あんま近づきなさんなよ。うちお金ないんやけ。

まる そんなん……。

まち子 どっから引っ越してきたんかも分からのやけ。

まる ……。

携帯電話が鳴り、まち子が出る。

まち子 お世話様です。はい。今、大丈夫です。 ……はい、はい、ああ……すみません……平日は、夜は出勤できなくて……。はい……。分かってます。（まるを見て、少し離れて） ……夜は、子どもがいますので、はい。手が離せない

ので……。ご迷惑おかけしているのは、分かってるんですけど……。申し訳ありません……。

まる ……ごちそうさま。

まる、自分の部屋に移動。

ぬいぐるみを持って、ベッドに横になり目を瞑る。

まる ……（ぬいぐるみを飛ばしながら）大気圏突破。これから新しい星の探索に向かいます。

○宇宙探索ごっこ

そこは、まるの精神世界になる。

まる 対象の星を発見。今から着陸態勢に入ります。バディのアームストロングも無事です。（裏声で）やあ。最高の宇宙の旅になりそうだ。

目の前に、来夏が出現。

まる ……ん！？ 進行方向に、生命体を検知。な、何者だ！

来夏 あんたこそ何者？

まる ええっ？

来夏 あんたが人間っていう証明とかあったりする？

まる みっ、未確認生命体発見！ と、止まりなさい！止まっ……。

来夏 目に見えるもの以外、全部嘘だと思ってる？

二人、星屑に扮した生徒たちに飲み込まれる。

○ 教室

チャイム音。

文化祭の話し合い。生徒たち、ざわめいている。

来夏、どこか遠くを眺めている。

さや 他に案ある人いますかー？

田中 はい！バツティングセンター！

さや 田中は出しすぎっちゃ。

玉木 どーやってやるんかって。

田中 教室でやったらいいやん。野球部の備品でできるやろ！
ふう 本気で言いよんやけど。

チー まじ田中うざーい。

ちやる ねーお化け屋敷は？

梶 また玉木とふうかがイチャイチャするけどダメ。

玉木 おーいー。マジでしてないっちゃ。

田中 玉木とふうかチューしたん！？

玉木・ふう してない！

ちやる 仲良ー。

伊原 (作業しながら) 2年はステージ発表ぞー。

梶 もー合唱は？ さや。

チー えー合唱ー？

梶 楽やん。

玉木 合唱でいい合唱。

ちやる チューできんよ？

玉木 うるせーちゃ。

チー おもろくなさそー。

さや 一旦多数決とりまーす、そしたらら。えーと、合唱、寸劇、ダンス、バンド……バンドは無理そうやけ、消していいかね？

北野 な、何い！？

玉木 北野かよ。何弾くんかつち。

北野 ほ、放課後ティータイムとか……。

梶 何それ。

玉木 アニメやろ。

さや 楽器弾ける人あんまおらんよね？ みんなで出るっちなったら人数もね……

… (消しながら) すいません。

北野 そんなあ。

さや じゃあ、この3つで……。

片倉 多数決って意味ないと思います。

生徒たち、ざわつく。

さや (片倉を探しながら) か、片倉さん？ ……かね？

片倉 (立って) 多数決って少数派の意見無視することになるので、民主的じゃないと思います。

田中 ……おー？ 北野の味方かー？

片倉 あくまで公平な視点からの意見です。私は合唱がいいので。かな 合唱がいいんや。

ふう あのー、合唱でどうかね？ みんな出れるし……時間もないけ、曲決めた
りした方が……。

林 (小声で) 思ってもないこと言わんでええっちゃ。

玉木 なんか文句あるんか林。

林 ……キツシヨ。

玉木 あ？

梶 玉木やめろ。

チー てか劇はー？

伊原 あと5分ぞー。はよ決めろー。

チー 劇おもしろそーくない？

ちやる えー確かに。おもしろいかも。

梶 脚本とかはどーするん。

チー 脚本とかは……おまるさんができるやろ。

まる えっ。

ふう できるん？

チー 言いよつたくない？なんか去年。劇やりよつたっちさー。

まる それは……。

チー おまるが書けるってー。決まりー。

田中 上げえー！ 小説家やん。

林 それを言うなら劇作家やろ。

梶 マジでできるん？ 内田。

まる ……。

チー 演技も上手やけでできるやろ、おまる。トイレから出てきたときまじ怖かつたもん。ねえ？

ちやる 誰かいませんか、誰かあ、っち。

チー 本物のユーレイかと思ったっっちゃマジで。

さや …… (時計見ながら) 内田さんが良いならやけど……。

伊原 あと1分ー。

来夏、急に挙手。

来夏 はーい。

生徒 ……。

さや ……お、大月さん。

来夏 私もやりまーす。内田さんと。
まる えっ。

来夏 劇二人で考えまーす。いじょー。

チャイム音。

さや そ、そしたら……二人お願いできるかね？ 次までに何するか決めとって
もらって……急ぎでごめんけど……。

来夏 ほーい。

伊原 決まったかー。次から練習ぞー。にっちょーく。

片倉 (小声で) 多勢に無勢。

伊原 ん？ 片倉なんかあるか？

片倉 ……規律、礼。

生徒 ありがとーございましたー。

田中 せんせーさよーならー！

伊原 はいさよーならー。

先生・生徒たち、帰る。

メダカに餌をやっている和田に、田中がぶつかる。和田、餌をこぼす。

田中 行ってえー！

玉木 おいやめろっちゃん田中。和田菌がうつる。

ふう 何しよん田中。

来夏・まる・和田以外、退場。

餌を拾い集める和田。

来夏が餌を集めて和田に渡すと、和田は走って逃げていく。

来夏 逃げた。

まる ……。

来夏 …… (ごっそり餌を取り出して、水槽に入れようとする)。

まる ちよつとちよつと！

来夏 ……ちよつと、ちよつとちよつと？

まる ち、違うよ……。多すぎよそれ。

来夏 そーなん。

まる こんくらい……。

まる、メダカに餌をやる。

来夏 ……食べてる。

まる ……餌やけ……。

水槽を見つめる二人。

来夏 ……。

まる (餌を片付けたり、水槽のゴミを掬ったりして) ……。

来夏 和田って人が、係？

まる ……うちも係やけ、一応……。

来夏 全然餌やってなかったじゃん。

まる それは……。和田くんおったけん……。

来夏 和田がいたらなんかダメ？

まる 駄目、じゃないけど……もつと言われるけ。

来夏 ふーん。あっそ。

来夏、机に登る。

まる あ、危ないよ。

来夏 危なくないよー。

来夏、まるの手を取り机に登らせる。

まる わっ……!!?

来夏 きーめた！ どっか行こ！ 遠く！

まる えっ？ どーいうこと？

来夏 そーいうこと！

まる や、劇決めな早く……。

来夏 ほら行こ！ レッツゴー！

まる え、ええ!?

来夏、まるの手をとって外に連れ出す。

まる なっ、どこ行きよん!? おっ……大月さん!

来夏 来夏！ 来る夏で、ラーイカー！ リピートアフターミー、ライカー！

まる らっ……ライカ！ 止まってっちゃ！ ライカ！

来夏 走れメロス！ 走れメロス！ 走れ走れ走れメロス……！（笑って）

まる ね、ねえちよっとお！

来夏 ええ？ 何？ ちよっど？ちよっどちよっどー？

二人、笑いながら走っている。

二人、コンビニにたどり着く。

コンビニ入店音。

まる えっ。……やばいっちゃ見つかったら……。

来夏 アイスアイスアイス（入店）。

まる らっ、ライカ！？

来夏、コンビニへ入る。店外でウロウロしているまる。

来夏 （出てきて）ほい！

来夏、まるにソーダアイスを半分割って手渡す。

まる （受け取って）……。

来夏 いらぬなら、食べまーす。

まる あっ、あ……りがとう。

来夏 どーもー。

二人、並んでアイスを食べる。

まる ……やっぱいけん、こんなん！

来夏 もー食べてるじゃん。

まる そーやけど！ そーじゃない！

来夏 ……サボんなかったらいい子なの？

まる サボるよりサボらん方がいいよ、そりゃ……。

来夏 ほんとに？ じゃ、クラスのみんなはいい子ってこと？

まる それは……わからんけど……。

来夏 いいとか悪いとかみんな言ってるだけ！ 本当は、良いとか悪いとか、そ

ういうんじゃないよ、多分。こっち行こ！
まる あっ、もー……！ 待ってっちゃ！

走る二人。

まる ㄥ それからライカは、私を色々なところへ連れて行った。学校近くの海。駅チカの百均。小倉城。夜の道。名もない小さな丘。その度ライカは何かをくれた。丸い石。小さいLEDライト。道端の朝顔。色水。月のかけら、……と言ってくれたこれは、多分きつとガラスの破片。道路で拾ってそのままくれた。私一人じゃ行かない場所、手に取らないもの、空気、色、風、言葉、表情、全部くれた。私はずっと、誰にも貰えなかったものを、ライカは全部。

そこは夜の道。

来夏、小さいライトをチカチカさせている。

来夏 ツートントントー。

まる トントントントーツーツーツーントントン。助けてって意味になるんよ。これ。知つとった？

来夏 ふーん。(ライトをチカチカさせて) ツーントントントントントー
ン！

まる 何それ。

来夏 ここにいまーすって意味！

まる えっ本当？

来夏 テキトー。

まる 何なん。あはは。ツツツツトントン！ ふふ。……ピピッ、未確認生命体を確認！ 手を挙げる！

来夏 宇宙人には地球の言語は通用しませーん！ えいつ。ビビビビ！ レーザービーム！ まる 飛行士、残念ゲームオーバー。

まる まーぶーしーい。もーお。

来夏 あはは、変な顔。まる 劇でその顔してよ。絶対ウケる。

まる やだライカが出てよ。そしたら脚本も考えるようちが。

来夏 いーよー？

まる いーのー？ 本気ー？

来夏 本気よ本気。ライカ主演、梶は敵。他は全員脇役ね。木とか。あ、和田とかにはいー役あげよ。玉木と田中を殴る役。

まる ……無理よそんなん。

来夏 無理じゃないよ？ 書けばもうそうなるんだもん。あいつら書かないんだから、文句言っただけでやらせときゃいいよ。やるしかないんだもん！

まる でも……。

来夏 できる！

まる ……。そんな、根拠なく言われても……。もう、ライカも手伝ってよ？
来夏 根拠ってあってないよーなもんじゃん。できるとかって、そう思っただけで、もうできるよーになってるんだよ！ そーっしょ？

まる ……そーかなあ。

来夏 あ！ 月！

二人、月を見上げる。

まる わあ。ぼやっとしとる。

来夏 ……ねえ。

まる うん？

来夏 十五夜って知ってる？

まる そりゃ知つとるよ。満月やる？

来夏 うん。一番おーきい満月！ ……私さー。今度の十五夜、 UFO 呼ぶんだー。

まる えーほんとー？

来夏 ほんとだよー！ あのねー、なるべく広いところでやるのが良くてー。こーいう、障害物もないところか！

まる へー。……呼んでどうするん？

来夏 月に帰るー！

まる (笑って) えー。そんなん、かぐやひめやん！

来夏 そーよく？

まる へーえ。……あ！

来夏 何？

まる ……いやあ。

来夏 何よ。

まる でもなあ、やっぱナシやなあ。

来夏 なになになにに、いーから。言っつて。

まる か、……かぐやひめとか……こー、クラスでアレンジしてみたらどうかね
つち……。や、違うんよ。ただ、状況がちよっとね、似てるから面白いかなあ
ち、本当それだけなんやけどね。

来夏 ……いいじゃん！ かぐやひめ！

まる えーでもちよつと暗くないかね？ 文化祭には……。最後ちよつと悲しいけさ、みんな反対かも……。

来夏 最後つて月に帰っていくところ？ あれサイコーやん！ 大好きあれ！ それにしよう！ 絶対！ お願ひ！ それがいい！

まる ええ……じゃあ、ライカがそこまで言うなら……。

来夏 うん！ よっしゃあー！ それでいこ！ 行こ行こ行こ！（手を取って）まる だけ早いつちや色々。もお。

月夜の中、手を繋いで帰る二人。鈴虫の音が聞こえる。

鼻歌を歌っている来夏。

まる ……ねえ、ずっと気になつとつたんやけどさー。ライカつちどこの方言なん？ それ。

来夏 ええ？ どこつて、……ないけど、多分。

まる ひよーじゅん語？ こつちの言葉やないけさ。

来夏 ど、どーなんかつちやね？

まる テキトー言わんでいいけ。

来夏 ……家の人、関東の人だから。それかなー。

まる えつ、いいなー。トーキョー？ お母さん？ お父さん？

来夏 ……。

まる ？

来夏 私は母の腹を破つて生まれてきたのだあ（替して）。

まる うわあ。何何。

来夏 劇好きーって聞いたから。

まる べ、別に、……好きやないよ。ちよつとやつとつただけよ。

来夏 それを好きって言うんだよー。

まる ちーがーう。もう。

ライトをチカチカさせながら帰る二人。

○教室

文化祭、話し合いの時間。

まるが立っている。

さや ……おおー。どうですか？

伊原 特に問題なし。去年も赤ずきんのパロディやつとつた組あつたしな。いー

んやないか？

玉木 おー、いーやん。

梶 でもちよつとしんみりするよな？

林 確かに終わりが暗い。

来夏 しませーん。

梶 あ？

来夏 そんなん演出で派手派手にしまーす。

梶 なんかちやお前。

来夏 暗いかどうかは観た人が決めることでーす。

伊原 しょーのないことで喧嘩せんぞー。もう大人やぞお前ら。

片倉 かぐやひめは別に暗い話じゃないです。

来夏 そーだそーだ。

田中 14歳っちまだ子どもやろ！

林 誰もその話してないんよ田中。

まる あ……えつと、その……まだ細かくは決めてないんやけど……。文化祭のテーマにも、こう……あつとうかなつち思つて……。

かな テーマなんつけ？

伊原 今年は「希望」やな。

梶 あつてるか？

まる ……か、書きようによつては……。……月つち、まるくて、光つて……。いつつも空のどつかにあるけん……。

ちやる 見えん時もあるよね？

まる ある、……。けど、どつかには絶対ある。やけ、何ちゆうか難しいけど、かぐやひめが観た人にとって、希望になるよーな話やったら、いいんやないかなつち。当てがきつちゆうのがあつて、やる人にキャラクターを当てて作る方法なんやけど、それをこのクラスでやれば、おもしろいのできると思うし……。すみません。

さや ……よさそう。

かな ね！

さや 梶。いいよね？

梶 ……まあー。うんー。

田中 俺も出して俺も！ 派手な役！

玉木 いーやん、内田めつちや考えとーし。ちゃつちやと役決めよーや。

チー ……おもしろくなーい。チー小道具とかやろつかない。ちやるとふうも。

いいよね？

ちやる 全然いーよ！

ふう うん。部活忙しいし逆に助かる。ごめんね！
チー 名前書いて、さや。

さや あ、うん……。ごめん、何がいるかね？ 内田さん。

まる あ、えつと……。道具、小道具と、衣装とか……。こころ辺は他のと兼役でも大丈夫で……。あとは、音響、照明、役者とかかね、今回は……。

チー そうしたら道具小道具衣装うちらで。

さや はい。えーと、他が……。

田中 はい！ 俺役者ー！ ヒーローかヒロイン！！

林 何でどっちでもいいんかつちゃ。

まる あ！ あの、役者なんやけど、まだ色々決めてないけん……。次決めるでいいかね……。時間も時間やけ……。

さや ん！ おっけー分かった。大丈夫ですよ？

伊原 おー。決めるんやったら何でもいいぞ。

さや はい。したら次決めまーす！（まるに）脚本、次までにお願いできそうかね？ おおまかなやつで大丈夫やけん。ごめんね。

まる う、うん。分かった。

チャイム音。

伊原 終わるぞー。につちよーく。

北野 きりーつ、れーい。

生徒 ありがとーございましたー。

生徒、各々グループになって移動。

伊原 次移動教室ぞ、急げー。……。あ、内田。

まる は、はい。

伊原 ちよつとこれ。（プリント束渡し）職員室まで運んでくれるか。
まる はあ……。

伊原 俺も歳やけの。腕が足らんよ。

まる と、歳と腕の数って、関係ありますかね……。

伊原 ほい。急げー。

伊原先生、まる、二人で職員室へ向かう。

伊原（到着して）はい。ごくろーさん。ありがとう。ここ置いて。

まる はい。

伊原 えーつと……（何かを探して）、これか？ 違う。

まる あ、あの……（移動教室に行こうとして）。

伊原 ああ、待て待て。……えー。あ、あった。（冊子を手渡して）ほい。

まる ？

伊原 去年の脚本、2年の。結構良かったけな。参考なるやろ。

まる ……あ、ありがとうございます……！

伊原 がんばれよ。

まる はい。……失礼します。

伊原 あ、そーや内田。お前まだプリント出してなかる。はよ出せー。

まる は、はいっ。

まる、職員室から退場。

○教室

チャイム音。

放課後、部活に向かう生徒、帰宅する生徒。

教室には、メダカに餌をあげている和田、だるそうに掃除をしているチーとふう、脚本を考えているまると、ぼーつとしてくる夏。

チー （ケータイ取り出して）……やば、月見バーガー今日からやん。

ふう えっやばっ。

チー このあと行こーや。

ふう えー！ めーっちゃ行きたい！ けどー……ごめん、部活ー……。

チー いいやん今日くらい。仮病仮病。部活はずっとあるけど、月見バーガーは限定なんよ。ね。いいやろ。

ふう んー……。

チー おまるー。

まる ……。

チー ちょっと急用ー。代わりやっといてー。（箸を押し付けて）はい。よろしく。行こ。

まる えっ……。

ふう ちょっと……（まるに手でごめんをして）もー、はい。

チーとふう、退場。

まる ……はあ。

箒を手に持ち、洪々掃除を始めるまる。

まる （お腹をさすって）……。

来夏 ……お腹出して寝たー？

まる ……分からん。ストレスかね。すぐお腹にくるけ……。

来夏 ふーん。……和田ー。代わったげてー。

まる なんて和田くんなん！ いいつちゃ。ならライカがやってよ。

来夏 今素晴らしいアイデアを出してるところだから無理。

まる 何なんもー。

和田 ……いーよ。

まる えっ？

和田、黙ってまるの掃除道具を取る。

まる え、あ……。

来夏 和田はそーじ上手いよ。

まる ……何で分かるんそんな……。

来夏 いっつも餌やりめっちゃ丁寧だもん。一匹一匹、ちよーど3粒ずつ食べられるように、毎日16時ピッタリに絶対やってる。な！

和田 （掃除しながら）……。

来夏 （作業しながら）和田は、角は四角く掃くタイプよねー。

まる ……。

来夏 まるは、まあるく掃くタイプ。

まる うるさい。

和田 ありがとう。

まる え？

和田 ……この間。餌、ありがとう。

まる あ。いや……。こちらこそいつも、……ご、……あ、ありがとう……。うち係なのに……。

和田 （掃除して）……。

来夏がシャーペンを動かす音と、ひぐらしの鳴く声がよく聞こえる。

まる ……何書きよん。

来夏 ……（紙見せて）宇宙人。
まる もーおー。真面目に考えてよー。
和田 ……（掃除道具をまるに渡し）。
まる あ、ありがとう。

和田、黙って帰る。

掃除道具を片付けるまる。

まる 和田くんっち、なんか……ちよつと、思っつた感じと違った。
来夏 ……。（紙を丸めて）ねー。外出よ。
まる ええつ。まだ何も決まっていなかつちゃ、細かいことが！
来夏 いいから！
まる よくない！
来夏 いい！今つて、今しかないんだよ？
まる 何なんそれ。謎かけ？
来夏 行こ。水族館！
まる はあ！？

来夏、無理やりまるを連れて外に出る。

○水環境館

駅近くの水環境館。地域の魚や、川の再現が展示されている。

来夏 ひゃっほー！ 紫川ー！ ナマズ！ ウナギ！
まる ……水環境館やん……。もー……（お腹さすつて）。ほんとほよせんと、
間に合わんよ……。もう九月よ。
来夏 見て見て見てほら。この水槽、メダカ一匹だけ！
まる えー、なんーもー。……ほんとやん。
来夏 ……学校のと似てるー。同じー？
まる どうかねえ。（メダカを見て）………なんか、わざわざポンプの泡のと
こぼっか泳ぎよつて、……ライカみたい。
来夏 何それ。もたもたしてることか、まるみたいだけど？
まる うるさいつちや。

魚に扮した生徒たちが、二人を囲ってゆらめき踊る。

来夏 ……ねー。

まる なにー。

来夏 ……このメダカ、泡が当たるとき苦しーかな。

まる え？

来夏 ……大変だよ、泡の中泳ぐのって、きつと。………どの学校行っても、無視されたり、陰口言われたりして。感じないふりしてるんだー、いつつも。そしたらほんとにそうなる気がするから。………気がするだけだけ。

まる ……。

来夏 ……何、まる。元々バカみたいに明るいやつだと思ってたー？ ……こんなんやつてくの、私だって苦しいよ。

まる ……………ごめん。

来夏 ……まるだから特別に教えてあげたんですけどー。

まる ……うちさ………。

来夏 うん。

まる うち、ずっと………ずっと、………逃げとるんよ。泡に当たらんように、苦しい思いせんで良いように、ただゆっくり泳いどるだけ。当らんように逃げて、逃げて、そうやってずっと生きてきたのに、………こんな苦しいのは何でなんやらか………。

来夏 ……。

まる おかしいよね。ただおるだけなのにね。

来夏 ……別にー。

心人、寄り添う。

まる どこにおっても、ひとりぼっちって感じがする。………授業とか、移動教室とか、………家とか。

来夏 ……まるんち、家族はおらんのか？

まる ……うち、おとーさんおらんよ。

来夏 ……お母さんはいるの？

まる まあ、おるけど………。

来夏 いーじゃんいるだけ。私、どっちもないよ！

まる えっ。

来夏 じーちゃんとばーちゃんだけ！

まる ………ならいいじゃん。

来夏 よくないよ。血い繋がってないもん。

まる 別に、血とか関係ないやん。………血繋がってても、お母さん厳しいしウ

ザいし……、うちのこと多分好きじゃないもん。うちのこと邪魔っち思っとーもん……。いっつもお父さんと喧嘩しとーし、それうちがおるせいやし……。そんなんやったら、もう、おらんほーがましやもん……！

来夏、まるを叩く。

まる いった！ 何するん！

魚に扮した生徒たち、退場。

来夏 ……ずるいよ。

まる ……ず、ずるくないっちゃ！ う、うちの家のことなんか、なんも知らなくせに……！

来夏 まるは、お母さんがいるからそんなこと言えるんだよ！

まる なっ……！ そんっ……！ くっらっ、ライカのっ、お父さんもお母さんもおらんの、……ほっ本当は嘘なんやろ！？

来夏 ……？ 嘘じゃない……！

まる 嘘じゃないっち、じゃあ証拠は……？ そーやったらこんな性格ならんくない……？ 何でいっつも堂々としとん！ 元々違ったっち言うけど、そんなん嘘

よ！ 嘘やないとおかしいよ！ 元々そーじゃないとそんなならんもん普通！ そーやろ……？ 何で……何でうちはこんななん、じゃあ……！ お母さんはお

るのに、何でライカよりダメダメなん……！ なんて何もできんの。何で……（泣く）。

来夏 じゃあ何……？ お父さんもお母さんもない宗教の家の子どもは！ 弱々しくて、ボロボロで、いっつも落ち込んでないとダメってこと……？ ふざけんな、バーカ……！

まる 知らんよバカ！ バカバカバーカ……！

来夏 バカって言った方がバカ……！

まる バカって言った方がバカ……！

来夏 バーカ……！ ……なっ、なんも！ なんっにも知らないくせに……！！ 私には本当に本当の一人なのに……！！ 友達も、知り合いも、血の繋がった家族もない……どこにも味方がいない……！！ 世界でたった一人なのに……！！

……！！ お母さんがいて、お父さんもどこかで生きてるやつには、何も分かるわけない……！！

まる ……っ！ そ、そうよ！ 分からんよ……？ 分かるわけないやろ……！ うちがライカじゃないんやけ……！

来夏 ! 私だつてまるじゃないですけど! だからっ、まるの辛さなんか!
1ミリも! 分かんない!!

まる はあー!? 1ミリくらい分かってくれたっていいやん!!

来夏 じゃあまるだつて分かつてよ!! どうせまるだつてほんとは私のことお
かしいうちの子どもだつて思ってるんでしょ!!

まる ぐっつ!

まる、来夏を叩く。

来夏 いたっ!! このっ!! (叩く)

まる ぐっそうよ! そりゃ、普通とは思えんよ! ライカが言つとーこと、全
部おかしいもん! DEFO呼べるとか月から来たとか!! ……本当は全部でた
らめやもんね!?

来夏 つあんたがそう思うならそうでいいよ別に!!

来夏、別の場所へ行ってしまう。

まる ……ぐっなんなんっ!

残されたまる、退場。

○道

あたりは薄暗い。

まる、始め走っているも、だんだんと歩みが遅くなる。

まる (鼻を吸って) う、……つうう……。

お腹を抑えるまる、うづくまる。

まる ……はあっ……うう……。

まる、立ちあがろうとするも立ちくらみがして立ち上がれない。水筒のお茶を
ゆっくりと口に運ぶ。

まる ……。

まる、手をつきながら、ゆっくりと立ち上がり歩き出す。

○まるの家

フラフラしながら帰ってくるまる。

頭を抱えて座っているまち子。

まる お、お母さん……。

まち子 ……なんね……。

まる なんか……気分悪いかも。

まち子 ……（ため息）、パブロン飲み。

まる そーいうので治る感じやない……。

まち子 じゃあなんね。

まる だけ、分からんっち……お腹ずっと痛い、めまいとかあるんよ……。

まち子 軽い熱中症かなんかやないん。水分とって、ちよつと横なつとき。……

はあ。……ちよつと寝さして。ごめんけどお母さんも体調悪いんよ。ご飯冷蔵庫

あるけん、チンして食べりよ。

まる ……。

まる、自室へ移動。部屋が片付いていることに気が付く。

まる ……!? お母さーん!!

まち子、まるに呼ばれてゆっくりとまるの部屋へくる。

まち子 （壁に寄りかかりながら）もー、なんね。お母さん頭痛いんよ。

まる お母さん！ 勝手に部屋入らんでっち言いよーやんいつつも……!!

まち子 もー。あんたが片付けんのやけ、しょーがないやん。嫌なら自分で全部やりっちゃ。

まる やるっち言ったやんこの前!

まち子 遅いんよ。

まる うちのペースがあるんよ! （部屋を探し回って）ねえ、ぬいぐるみどこ?

まち子 ぬいぐるみ?

まる あのくまさんよ! 首のところにキラキラの宝石が付いとう……。

まち子 あれか。捨てたよ。

まる ……す、捨てた?

まち子　ゴミの日やけん、まとめて出したよ。今日。

まる　はあ！？　何で勝手に捨てるん！　大事なもんやったのに！！

まち子　大事なもんっち……。あんたもう何歳ね。14歳やろ。もう子どもやないんやけ、ぬいぐるみとか卒業せな。恥ずかしいよ。

まる　覚えてないん……。

まち子　何がね。

まる　覚えてないんや……。……もういい。

まる、布団にくるまってしまふ。

まち子　だけ何かっち、聞きよろーもん。何ね。

まる　……。

まち子　もー……。……お母さん行くけね？　立っとうのもキツいんやけ……。

まる　……。……買ってくれた。

まち子　ええ？

まる　買ってくれた！　お母さんとお父さんがまだ離婚してないとき！　ハウス

テンボスで買ってくれた！

まち子　そんな昔の話……。……お父さんが選んだやつやろ。そんな取っとかんでええんちゃ、だけ。捨てて正解よ。

まる　お母さんも一緒に選んどった！　二人で選んどった！

まち子　もーどっちでもいいやろそんなこと！　もう捨てってしまったんやけ、う

だうだ言っただってどーしよーもないやろーもん！　もう大人なやけ我慢せな！

まる　まだ大人じゃない！

まち子　もう大人やろ！　中学生なんやから！　……。……はあー。（頭押さえて）：

……知らんよ、もう。お母さん下で寝とるけね、まる。

まる　（布団から出てきて）まるって呼ばんで！

まち子　どうしたんねもう。

まる　うち……。……まるって名前、だいつきらいなんよ！　何でこんな変な名前つけ

たん！　お母さんのバカ！　学校でも馬鹿にされとんよ、お母さんは知らんやろ

ーけど！　トイレのおまるとか言われて！　チーちゃんたちがわざとトイレん中

閉じ込めてきたのに……。……！　もつと……。……もつともな名前が良かった！　さや

とかふうかとか、可愛くて綺麗な名前がよかった！！　うちの名前がもつと普通

で、もつと可愛かって、お父さんもいて、お金持ちで、演技もめっちゃ上手で

っ、……。……そしたらこんなに馬鹿にされてないのに！

まち子　はいはい！　全部お母さんが悪いね！　それで満足かねあんたは！

まる　そーよ！　全部お母さんのせいよ！　お母さんが全部悪いんよ！　お母さ

んがっ、お母さんが勝手に結婚してっ、勝手にうちを生んで、勝手に離婚したせい！！

まち子 (まるを跳ね飛ばして) あんたっ……！！いい加減にしときよ！ 言っていることと悪いことがあるっち、分からんかね！ ……ほんといつかからこんなわがままになったんかねあんたは。あんたみたいな子に育てた覚えはないよ……。

まる ……育ててもらった覚えもないもん……！！

まち子 はあー。もう知らん！

まち子、出て行く。

まる (泣いて) ううう……。

別場所、丘の上で座っている来夏が浮かび上がる。

まる、布団から顔を出し通学バックをあさり、プリントを取り出す。プリントを見つめた後、くしゃくしゃにして乱暴にバッグに戻す。

まる (小さくなつて) ……まるのほっぺはまんまるほっぺ。かわいいかわいいぶにぶにほっぺ……。

まる、何度か繰り返し、自分を抱きしめる。

雲に隠れていた月が顔を出し、部屋が月光で照らされる。

まる、窓の外を眺める。

同時に、来夏も月を眺めている。

まる ……。

来夏 ……。

まる・来夏 ……月をぼうつと見つめていると、ありきたりな言葉だけど、綺麗だなあと思う。延々と続く真っ暗な空の底で、たったひとつ、なんの間違いもなくまんまるな円の形をしている月。ずっと静かに見守ってくれている、孤独で寂しい私だけの星。 ……誰が作ったわけじゃない。ただいたずらに、宇宙が生まれて、銀河が生まれて、月が生まれた。ただそこにあるだけの、美しく大きなかたまり。月を見ていると、時間を忘れた。普段のことを考えなくてよくなった。 ……それにとても、助けられた。

月を見つめる二人。

来夏、通学バックからリコーダーを取り出し、オーラリーを演奏。
来夏、フェードアウト。

グラスが割れる音が聞こえる。

まる ……？

まる、リビングの様子を伺いに行く。

そこには、グラスを落として倒れているまち子の姿。

まる つお母さん！？ お母さん、どうしたん、お母さん！？

まち子 ……うう。

まる 救急車呼ぶ！？ お母さん！ 大丈夫！？

まち子 ……大丈夫、大丈夫……。高血圧やき……。

まる 大丈夫じゃないっちゃ！ そーとー顔色悪いっちゃ！ 救急車呼ば、救急車！ ねえ……！

まち子 そんなん……迷惑やけん、いいっちゃ……。……ちよつとしたら、よくなるけ……。

まる 病院行こうって。ねえ。ケータイ、ケータイどこあるん！？

まち子 (指差して) ……あの、上やけど……。はあ……。

まる どうしよう。どうしたらいいんかね。(ケータイを取って) どうしよう。110番……119番かね？ 分からんどうしよう。どうしよう。

まち子 いいっちゃ、だけ……。ほんとに……。

まる あ、あ……そ、したら、お父さんに連れてってもらおう！ 車出してもらお、前してもらったやん。うちがインフルなったとき。ね！ そうしよ！ お父さんに頼も！

まち子 ……いいっちゃ…頼まんて……。

まる 頼まんてどうするん！ お父さん……。(ケータイ手にとって) 暗証番号は？ 何？

まち子 ……誕生日……。

まる (打って) ……開かんよ！？

まち子 ……あんたのよ……。

まる ……。

まる、お父さんに電話をかける。なかなか出ない。

まる ……つもしもし！ お父さん！？ ま、まるです……えっと……く、

車、出せたりするかね？ ちょっと家きて欲しいんやけど……。緊急なんよ、お母さん、……。体調悪いでから……。めっちゃ顔色悪いし、息とかがつとーし、汗とかひどいし、ちょっとやばそうなんよ、病院行かな……。来れるかね……。うん、うん。(時計を見て)お願い、できるだけ早く、……。うん、待っとるけ、お願い、早くきて、早く。お願い。うん……。 (電話切って)。

まち子 ……大袈裟っちゃ……。

まる お母さん大丈夫……!？ お父さんすぐ来るって。あとちょっと頑張れる？ すぐ来るけね。

まち子 ……まる……。

まる 何？ どうした？ なんかいる？

まち子 ……(まるのほっぺを触って)まるのほっぺは、まんまるほっぺ……。

まる ……それ、小さいときの寝る前のやつやろ……。

まる、まち子を抱きしめる。

来夏、再び浮かび上がり、ライトを空に向かって点滅させている。

来夏 トントントントントントントントントントント……。 (続けて)。

まる ……早くきて、お父さん……。早く、早く……！

少しして、お父さんが駆けつける。

来夏、フェードアウト。

父 どうしたんか！

まる お父さん！

父 (まち子に)大丈夫か……。? (お母さんを担ぎ)まる！ そっち持て。

まち子 ……うう……。

まる 分かった、お母さん。お父さん来たけん。病院もうすぐやけね。

父 まる行くぞ。

3人、お父さんの車へ。お父さん、車のロックを解除する。

まる、後ろのドアを開けようとする。

父 おい、まる。……そっち入れんけ、母さん助手席乗せろ。

まる わ、分かった。

まる、お父さん、まち子を助手席に乗せる。

父 よし。まるはそっちから後ろ乗れ。
まる うん。

まる、車のドアを開けて固まる。
そこには、チャイルドシートがある。

まる ……。

父 どーしたんか。はよ乗らんか。出るぞ。

まる ……（乗って）。

父 シートベルト。

まる ……（シートベルトをして）ねえ、赤ちゃんおるん？

父 ……。

お父さん、車を発車させる。

○教室

文化祭準備をしている生徒たち。各々グループで作業をしたり、座っていたり、立って話したりしている。

来夏は休み。まるは何人かに囲まれている。

田中 俺の役これえ！？ ザコやん！ セリフ2つだけやん！

玉木 俺も一人と言うセリフ2。

さや あー。ちよっところ変えた方がいいかも…。

かな どこ？

さや ここ…：チーちゃんたち出らんもんね？

チー 出らん。

梶 俺これ敵！？ 大月にやられとーし。最悪！

林 4ページ目、漢字間違っとーけど。

まる ……。

かな 内田さん？

まる あっごめん…：なんかね。

田中 内田！ もっと俺のセリフ増やせっちゃ！ カッケーやつ！

さや 田中はいいっちゃ。ごめん配役なんやけど…。

ちやる ちよっとー。勝手に入れんでよおまる。うちら頑張って背景とか作るんやけさ！

チー 消しとってさや。

ふう ちよつと……う、うちは、ちよつとくらいやったら残しとって大丈夫よー！

チー はー？

ふう あはは……。い、いーやん！折角やしー……思い出よ思い出！ちよつとくらい出ちやろーや！

チー 絶対やだ。

林 自分が出たいなら出たいっ言やいーやん。

ふう べ、別に出たいとかやなくて！……こーいうのはみんなでやった方がいいやろつち、そんだけの話やん。

林 ハラハおらんのに内申気にせんでいいよ、お前。

ふう なつ……。分かった、消して。消していけるんやったら消してもらった方が楽やわ。うちやって部活で忙しーし。残しとったら林がまた何か突っかかってくるけ。

林 は？

玉木 しょーもないことで熱くなんなちや。

林 玉木は関係ないやろーが。

さや あーもうもうもう！ 静かにしてください。（前に出て）ちよつとすみませーん！ ハラハ来るまでに配役決めないけんけ、ちよつとパパッと決めたいでーすー！

梶 はーい。おい聞けお前らー！

まる、お腹をさすっている。

かな （小声）ねね。

まる ……っあ、ごめん。なに？

かな これ、和田出とるやん。大丈夫なん？

まる え？

かな や、だけ……和田っちちよつと他の人と違うやん。動きとかもちよつと変やし……あ、ほら、前平和集会でさあ、体育館にみんなが集まってビデオ見たやん。そんなとき暗くなったら和田叫んで逃げてったの、覚えとらん？ だけんさあ、ステージ立つとか無理なんやないかね。

まる ……できんかね……。

かな できんやろ、さすがに。

さや えーつと。まず……、チーちゃんたちの役は、削っても大丈夫かね？ 内田さん。

まる ……ええつと……、多分……。

梶 内田あ。大月の配役なんやけど変えられん？ 最近学校来てないしあいつ。本番も来んのやないん。

まる ……。

さや うーん、ずっと来んのも練習できんで困るしね……。

まる ……いや、……えつと……その……。

梶 おい。鼻肩かよ。エコヒーキ。そーゆーの良くないです。

チー ……最近仲良さそうやったもんねーおまると大月さん。だけこんなセリフ多いんやねー。

まる そつ、……そんなやないっちゃ！

ちやる こつわ。

チー やば。

まる らつ……大月さんは、……み、みんなが思つとうよーな、人やないっ……

……！

チー ……思つとうよーな人つち、そんなん人それぞれなんやけど。

まる ……。

さや ……ちよ、調整できそーやったらちよつと、考えてもらうつち感じで……

いいかね？ うちからもハラ→に聞いとくけん、大月さんのこと……。

まる ……。

さや ……で、漢字が間違つとつたのが……。

林 4ページ。

さや はーい。ここも修正してもらってー……。

田中 俺のセリフは！

さや まあ、余裕あったらち感じで、田中のは。

玉木 どーでもいいやろ田中のセリフは。

田中 どーでも良くねーし！ 家族全員観に来るし！

かな おもろ。

さや 内田さん、次までにそこらへん修正してもらえると……。

伊原先生、やってくる。

チャイム音。

伊原 決まったかー。

さや あっ伊原先生。

伊原 次回までに決めた間に合わんけのー。気をつけて帰れよー。

玉木 きりーつ、れーい。

生徒 ありがとうございますー。

生徒、各々帰る。

まる、お腹をさすりながらトイレへ向かう。

道の途中の手洗い場で、和田が水槽からメダカを掬っている。

まる ……。

和田 ……。

まる ……え、死んどん？

和田 ……ポンプが壊れてから。日曜に。

まる ポンプないと死ぬん。

和田 空気がないと死ぬんよ。魚っち。

まる そっか……。

和田 ……。

まる (お腹さすって) ……ごめん……うち、なんもできんで……。

和田 ……。

まる、トイレへ向かう。

まる、トイレで下着を下ろす。

まる え……あ……。

まる、トイレトペーパーをぐるぐると巻き取って下着を拭く。再度トイレトペーパーを多く巻き取って、股に挟む。

まる ……うう……。

○病院

お父さん、待合室でベンチに座っている。

まる、服の入っている紙袋を手に入ってくる。

まる お父さん！

父 まる。

まる お父さん。……お母さん、なんち？

父 そんな大事やない。母さん、持病あるけん。疲れ溜まっとって、それのせいっち。

まる え……。

父 母さん、糖尿やけん。血圧高いんよ。心配かけたらいかんぞ。

まる と、糖尿っち、なんなん。どーなるん。治るん。

父 治るとか、治らんとかやないけど……まあ、母さんくらいの年なるとみん
ななるもんじゃけん。

まる ……。

父 大丈夫ちゃ。死にやせんちゃ。な。

まる (下を向いて) ……。

父 (肩を抱き) ……。あと1日くらい、検査とかあるけ入院っち、先生言
よったけの。

まる ……。

父 ……。……お前がインフルで倒れた時の方が大変やったんやけ。な。

まる ……おとーさん。

父 なんか。

まる ……お父さん、……うちのこと鬱陶しかった？

父 ……なんの話か急に。

まる ……うちのこと、邪魔やけん出ていったんやろ。

父 ……。

まる ……。

父、まるを抱きしめる。

父 ……車にチャイルドシートがあつたらーもん。あれ、まるのぞ。

まる えっ……お父さん、赤ちゃんおるんやないん。

父 おらん。

まる ……。じゃあ、外したらいーやん。

父 外さん。

まる 何だよ。

父 ……外せんのよ。

寄り添う二人。

○病室

まち子が横になっている。

まる、入ってくる。

まち子 ……まる。いいのにわざわざ来んで。学校はね。

まる もー終わったつちゃ。体調は？

まち子 よーなってるきよう。ご心配をおかけしました。

まる ほんとよ。もう。

まち子 あんた、あんときめつちゃ焦ってるから。お母さん、そっちの方が心配で堪らんかったつちゃ。

まる うるさい。元気になったけつち調子のつてから。また倒れるよ。

まち子 おー怖い怖い。

まる ……もう。…。(椅子に座って、フルーツに気づいて) どうしたんこれ。

まち子 お父さんがくれた。

まる お父さんりんご好きやね。

まち子 違うよ。あんた覚えとらん？ 小さいときあんたに剥いたりんご、お父さん自分のと思って全部食べたんよ。そーとーお母さん怒ってさあ、……そしたらこーいうとき、もーいっつもりんご。反省しとんかね。

まる ……なんなんそれ。

まち子 あんた食べり。お父さん剥いてくれたやつ。

まる ……(食べて) めっっちゃ下手。

まち子 不器用なんよ。

まる、りんごを一欠片まち子に差し出す。まち子、それを受け取り食べる。

まる ……ねえ。

まち子 なんね。

まる ……さつき、なんか、……血い出たんやけど。

まち子 ええ？ なんね、どこね。

まる 違うつちゃ。だけ、その、……せいりよ。

まち子 生理きたん。

まる ……うん。

まち子 ああ本当。……今どーしとんかね。友達にナプキンもらったん？

まる いや、さつきなつたけん、ティッシュ挟んで……。

まち子 なーんしよんかね。(バッグ指さし) 取って。

まる ……(取って渡す)ん。

まち子 えー…。(ポーチ取り出し) はい。あげるけ。つけり後で。家のトイレ棚あるやろ、そこ入っとうけね。使いよ。

まる うん……。

まち子 なんね。お腹痛いんかね。

まる 生理って、いつ終わるん。
まち子 まあ、1週間くらいかね。
まる じゃなくて、何歳まで続くん。一回始まったらもうずっとそうなん。
まち子 まあー……5、60くらいまでかねえ。
まる なが。
まち子 長っち、しょーがないやん。そーなんやけ。
まる そうやけど……。

まる、母の布団の上に体を預ける。

まち子 ……(まるの頬を触り)なんね。
まる ……。

まち子 ……学校はどうなんかね。
まる どうっち、別に……まあ、文化祭の準備しよーけど……。

まち子 ええ？ あんたのクラス何するんね。

まる ……や、まあ……劇……。

まち子 劇！？ あんた、いいやん。小さい頃ははいはいはいい！っち、我先に前出て劇やるタイプやったしねえ。

まる いーっっちゃもー……。

まる、通学バッグを漁り、くしゃくしゃに丸めたプリントを丁寧に広げ、まち子に差し出す。

まち子 なんね、これは。

まる ……忘れとった。

まち子 忘れとったっち……何これ、サインするん？

まる ……文化祭来るんやったらね。無理して来んでもいいけど……。

まち子 そりゃ、行こーもん。行かんでどーするん、自分の子どもが出るのにから。いつね。

まる ……来週の土曜。

まち子 (カレンダー見て) 休みとらな。

まる (カレンダー見て) ……今日って、十五夜？

まち子 そーよ。中秋の名月。

まる ……。

まち子 ほら、もう月でとるやん。まだ白いけど。まんまるやねえ。

まる ……お母さん、宇宙人っち信じる？

まち子 なんね。急に。
まる いいけ。

まち子 お母さんは幽霊とか都市伝説とか、そーいうんは信じません。ああいうんは全部テレビのつくりもんやけ。

まる ふーん。……じゃあ、今日空見とってん。

まち子 え？

まる、荷物をまとめだす。

まち子 どうしたんね。

まる ちょっと用事思い出した。

まち子 なんね、どこ行くん。

まる ともだちんとこ！

まる、立ち上がり走り出す。

まち子 ちょっとあんた！ トイレは！

まる 行くー！

○道

走るまる。空には満月がある。

まるΣ いる場所はなんとなく分かっていた。一緒に行ったあの畦道か、海辺の岩か、ちよつと離れたところにあるあの丘。少し広くて障害物のないところ、それが条件だと言っていた。お揃いのライトをチカチカさせて、ずっとずっと探した。

まる、丘にたどり着く。そこには、来夏がいる。

まる ライカーー！！

来夏 ……まる。

まる 今っ、そっち行くー！！

まる、来夏の元へ駆け寄る。

まる あのっ……この間は、……ごめん。

来夏 ……ごめん、済んだら、警察はいらないんですけどー。

まる ……今日、UFO呼ぶんだよね？

来夏 ……。

まる うちも呼ぶ！

来夏 はあ？

まる うちも、UFO呼ぶ！一緒に！

来夏 ……無理だよまるには。……信じてない人には絶対できないもん。

まる 信じとう。

来夏 ……。

まる ライカがUFO呼べるのも、月から来たのも、お父さんとお母さんが月で待つとするのも、……全部、全部！ライカが信じとることぜーんぶ、信じる。

来夏 ……そんなの信じられると思う？

まる ……信じるって何？目に見えるかどうか？じゃあ、愛情とか友情とかは信じない系？

来夏 ……。

まる ……信じとったら、UFO来るんやろ？

来夏、まるを無視して地面に円を書き出す。

まる、勝手に来夏の手伝いをしだす。

来夏 ちょっと。テキトーにやんないで！

まる ライカよりは上手にまる書けるよ。

来夏 大きさとかあるの！やり方知らないくせに！

まる 知らんよ！知らんでも、やらせてよ！分からんでも、一緒におらせて。……したらライカ、きっと苦しくなくなるよ。

来夏 ……バーーカ！

まる (笑って) バカって言ったほーがバーーカ！

来夏 バカって言った方がバカって言った方がバーーカ！

円を描く二人。

まる 何個書くん！

来夏 全然足りない！もっと！

まる げえ。目えチカチカする！泡みたい！

来夏 もーっといっぱい書いて！手が痛くなっても、どんだけ辛くなっても書くの！自分が書ける大きなまるをたくさん書いて、書いて書いて書いて、書き

続けたら、そしたらきつと月に届く！

まる 見てー！ うちのまるの方が大きいー！

来夏 はあー！？ こっちのまるの方が、大きいし！

来夏の時計のアラームが鳴る。

来夏 (アラームを止めて) まる！ 取って！

まる 何！

来夏 鏡！

まる、来夏に丸い鏡を手渡す。

来夏、鏡を空に向けて揺らす。

来夏 ラジオ付けて！

まる はい！

まる、ラジオをチューニング。

地元のラジオが流れる。

来夏 ……ツートンツートンツートンツートン……ツートンツートンツートンツ
トトン……。

まる え。それ……！

来夏 ……まるも！

まる 鏡ないよ！

来夏 なくても！ 光ればいい！

まる ひかれば……。

まる、ライトを取り出しチカチカさせる。

まる ツートン……。

来夏 ツートン！

まる ツートン！

来夏 ツートン！

まる ツートン！

二人、何度も繰り返す。

まる ! ……なんか光ってない!?

来夏 あれは人工衛星! 信号がきてない!

まる あれは!?

来夏 飛行機!

まる あれ!

来夏 金星!

まる あれは!

来夏 あれはっ……! あれは……!?

ラジオ、ノイズが激しくなる。

来夏 信号が……!

まる !!! ツートンツートトンツートン!

強い風が吹く。何色にも輝く光が二人を照らし、地面は美しい水面のように揺れている。

まる !!! 未確認生命体を確認!!! ライカ!!!

来夏 ……ほんとにっ……!!!

鏡が、一層と強い光を放つ。

まる ねえっ! ここにいますって、通じたんよ! 言葉が通じた!!! ね

え!!!

ライカ ……っ!!!

来夏、光の元へ向かう。

まる っライカ!?

来夏 ……人生でこんなことって、起こらないでしょ?

まる ねえ! 本当に行っちゃうの!?

来夏 行くよ!!! おとーさんとおかーさんが、待ってるから!

まる ……っ私! ライカが帰っても! 信号送り続けるから!

来夏 えー。どーせ、100年後には途絶えてるんでしょ?

まる (被せて) っ途絶えない!!! ねえ、ライカのこと書くよ!!! ずっとず

つと残るように！！ 劇にしてっ、一生、残す！！！
来夏 ……変な顔！

来夏、光に包まれて消えていく。

まるく ……たった一瞬のことだった。過去も、未来も関係ない、ただ、「今」だけがそこにあった。その日その時、彼女が生きて、眩く光って、消えただけの、銀河で一番輝いていた時間。それを私が観測した時間。…翌日、クラスのみんなはライカを忘れていた。……だけど。

○ステージ

文化祭当日。まち子、お父さん、伊原先生など、客席に座っている。

まち子 ……あんた、ほんとに来たんね。

父 お前がまるいじめんよーに見張らないけんけの。

まち子 うるさいっちゃ。

ブザー音。

手書きの背景の前に、おじいさん姿の和田、おばあちゃん姿のまるが出てくる。

まち子 あらっ。

さや、マイクを持って入場。

さや ここは2の3村。心優しいおじいさんとおばあさんが、仲良く暮らしていました。

伊原 和田や。

和田 ……(棒読み)ばーさんや。魚を捕まえてきたぞ。

まる あら、今日は焼き魚じゃのう。

和田 魚は殺さん。観賞用じゃ。

チー、入場。

さや ある日、いつものように二人が竹を刈っていると、竹の中から光り輝く娘が現れました。

チー まじ着物重いんやけど。
さや ……ちよつとわがままそうでしたが、3人で暮らすことにしました。

食卓を囲む3人。

まる かぐやひめー、ご飯よー。

チー ねータケノコばっかなんやけど。入れんでっち言ったよね？

まる わがままじゃのう。

和田 子どもなんて皆そんなもんじゃ。

玉木、林、かな、ちやる、ふう、入場。

玉木 大変美しい娘がいると聞いてやってきた！

まる あらまあ。

5人 結婚してください！

さや 大変、かぐやひめの噂を聞きつけた5人のお金持ちが、一斉に詰めかけてきました！

チー えー。あんたは石のはち、あんたは玉の枝、火ネズミの皮衣、5色に光る玉、こやす貝。全部持って来られたらまー考えるけど。

5人 やったー！

5人、退場。

和田 そんなものあるのか？

チー ないよ、全部うそ。あるわけない。結婚しなーい。

5人、戻ってくる。

玉木 石のはちです！

林 玉の枝です！

かな 火ネズミの皮衣です！

ちやる 5色に光る玉！

ふう こやす貝！

まる・和田 えー！

チー どうどうせニセモノやろ。

まる 本物だ！

チー！？ ありえない。あるわけない！

かな あるかどうかではありません。かぐやひめが、どう思っ、何を信じるかですよ。

チー ……。

和田 ……わしは結婚など、許さんぞー！（5人を殴って）

5人 わあー！

梶 ちょっと待った！

梶、田中、登場。

梶 なんか調子のつとーみたいやん、かぐやひめ。

田中 やっちまってくだせえ、帝！

チー あ？

さや 噂を聞きつけた帝と手下もやってきました！

梶 俺と戦え。俺が勝ったらその宝、全ていただく。

チー ふざけんなっっちゃ。全部うちのたからもんっっちゃ。

まる かぐやひめ！ 危ない！

殴りかかってくる梶を、殴るチー。

倒れる梶。

田中 帝ー！

梶 や、やられた……。

片倉 待ちなさい。

片倉、北野、入場。

さや 月のお迎えです！

北野 かぐやひめ！ 早く月に戻らないと、忍たま乱太郎が始まっちゃいますよ！

チー 別にいいけど。

北野 ワタシが観たいんです。

片倉 月の国の務めを果たしてください、かぐやひめ。

チー やーーだー！。

片倉 お父様とお母様も待ってらっしゃいます。

北野 ほらっ。羽衣もフリフリで可愛くしときましたから。

チー えー。しゃーない、帰るかー。

まる い、いやだ……。かぐやひめ、行かないで。帰らないで。かぐやひめ！

チー ……もう。はいっ。

チー、まるに手紙を手渡す。

チー うちの帰るから。家族が月で待つとるし！ でもね、じーちゃんばーちゃん。うちずつと月におるけ。悲しー時とか辛い時とか、空見上げて、月見て！

信号送って！ 返事するけん！ じゃ、よろしくねー！！ バイバーイ！ ……
(月に向かいながら) あ、おとーさーん。おかーさーん！

チー、片倉、北野、月へ帰る。

まる ……本当に行ってしまった……。

まる、手紙を見る。

まる なんじゃろう。

まる、手紙を開く。

その手紙には、大きなまるが書かれてある。

来夏、舞台上に浮かびあがる。

まる ……ライカ！

来夏、振り返りニヤツと笑う。

来夏、光に包まれる。